



児童発達支援 事業者向け自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ吉備中央

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	改善目標、手立て
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	4		・人数が増えたことにより、プレイエリアやワークエリアを広く利用できるよう、再構造化を行った。夏休みなどの長期休暇中は人数も多く、狭く感じる。	・今後も部屋の構造化や視覚化、スケジュールリングの工夫を行い、人数に合わせて試行錯誤を行っていきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	1	1	・トイレの入出が車椅子のままでは、入ることができない。	・幅57cmと入り口が狭くなっています。車いすの使用の方がいらっしゃった場合には歩行介助を行えるよう、準備をいたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		5		・山に囲まれていることも影響しているのか、虫が出ることもある。 ・ムカデやヤスデなどの虫が部屋に出ることがある。 ・虫が出る。 ・やすで、カエル等の虫がいることがある。	・建物の周りに虫よけパウダーをかけるなど、対策を行っています。 ・来所までに外回りの清掃を行っており、害虫確認を行っています。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			・目標管理などを含めて業務を振り返る機会や目標設定の取り組みがある。	・目標管理などを含めて業務を振り返る機会や目標設定の取り組みがあります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1			

業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	2	・第三者による外部評価はない。 ・外部の方を法人理事に参画していただいたことで、また違った視点の評価をしていただく機会が増えます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			・ケース会議や研修会、実践研究発表など、多く取り組んでいる。 ・スタッフ学習会があり、学べる場がある。 ・2か月に1回のスタッフ学習会や月に1回のケース会議など、多くの研修の機会を設けています。職員が学び、考える、伝える機会が増えることで、お子様方や保護者様のお力になれると思います。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5			・新たにNCプログラムも実施し、個々にあったアセスメントが来ている。 ・NCプログラムや太田ステージなどいくつかのアセスメントを半年に1回行っており、アセスメントを元に必要な計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			・複数のアセスメントツールを活用し客観的に評価できるようにしている。 ・専門的であり、根拠のある支援ツールを使うことにより、職員の見立てだけではなく、標準化された見立てを行い、支援の統一につながっています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	1		・項目の選択は地域や家族のものがないが、地域で力を発揮できるためのワークの実施、家族支援としての座談会などの取り組みがある。 ・希望されたご家族が学習する機会や一緒に体験できる機会もあります。また、法人内での取り組みを地域で発揮できることにつながる目標を作成しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			・目標立てたものを実施できている。 ・実際にワークやプレイエリア、集団活動の中で確認し、目標達成のための手立てを職員が考えています。

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達管理責任者を中心に他の職員の提案を受けながら立案している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した通所支援計画書をもとに各職員がお子さんの日々の様子、必要な課題を考え、作成しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のワーク、毎週の集まりの中で様々なプログラムに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークや集団活動という活動にて、取り組み内容は毎回異なるものを行っています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を敵宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・両活動ともに実施をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動と集団活動のどちらも必要に応じて組み合わせ、目標を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・細かな情報共有をオフィス回覧などでやり取りができています。打合せボードをみての役割確認もできているが、支援内容としてより細かく打合せは必要と感じる。 ・毎回、打合せを実施ができていない時もある。 ・運営スケジュールは、ボードにて提示することで職員間で共有ができています。 ・忙しい時は出来ていないことはあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼礼や注意事項などを回覧し、各職員に確認をして頂いています。課題の内容の確認などは職員同士でのやり取りが見られています。 ・夏休みなどの長期休暇は職員同士の確認が難しくなるため、必要に応じて声をかけながら情報の共有を進めていきたいと思えます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・上記同様に共有できているが、より細かな支援についての共有は必要と感じる。 ・終了後に、振り返りができない時もあるが気になる点や困った案件については、振り返りを行っている。 ・忙しい時は出来ていないことはあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼礼や注意事項などを回覧し、各職員に確認をして頂いています。各職員より本日の振り返りとして情報の提供もあります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・記録をとり、芽生えが達成できるよう、新たな組み立てを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を作成する中で芽生えの課題や継続の課題が達成となるように試行錯誤を行っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・6か月おきに再アセスメントを行い、成長と見直しを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半年毎に再アセスメントとアセスメント結果に応じた新たなプランを作成しています。継続課題も見直しをかけ、新たな手立てを構築しています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・TLだけでなく、日々の療育で多くを過ごす職員もケース会議に参加を進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援のお子様には半年に1回ケース会議を行っています。チームリーダーだけではなく、日々お子様方と多くの時間を過ごす担当もケース会議への参画を増やしています。

関係機関や保護者との連携

22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・会議の際には保健師の参加があり、情報共有ができています。 ・保育所等訪問などもあり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属機関をお持ちのお子様には2か月に1回のペースで保育所等訪問を行い、関係機関との情報共有や福祉的な視点での連携を行っています。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				<ul style="list-style-type: none"> ・受給指定対象児はなし。 	
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				<ul style="list-style-type: none"> ・受給指定対象児はなし。 	
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児入園、保育園入園や転園の場合に関して、実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅から入園の際にも法人の取り組みを引き継いでいます。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・毎年2~3月に実施できるよう今年度当初より調整をする準備をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園から学校などの節目には引き継ぎ資料を作成し、移行支援会議に参画しています。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1度は見学の予定立っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はまきび支援学校の学校公開へ見学を行いました。専門機関からの学びを法人で生かしていきます。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所自体の交流機会はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントに子ども向けの出店を行うことにより、場を設けています。また、所属園をお持ちで希望された方には保育所等訪問に行かせて頂き、園内の他児との関わりの様子を確認させて頂いています。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会に参加している。 ・ケース会議を約6か月ごとに実施している。 	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りの時間をおとりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りとして本日のねらいや課題の達成状況をお伝えさせて頂いています。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングの実施。 ・保護者対象の学習会も実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の座談時間や質疑応答の時間が多く取れるように、今後内容を変化させていきたいです。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・説明をし、押印いただいたうえで、支援の開始をしている。 	
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて声をかけたり、実際に行くこともある。すべての保護者には出来ていないように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りの際に気になることや質問がないかを確認させて頂いています。要望があった際にはすぐに調整をさせて頂いています。
	35	父母の会の活動を支援し、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・法人が事務局をしており、役員やサポーター会員の希望を確認しながらサポートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の会のハッピーサークルとして2か月に1度のシリーズ講座の学習会、保護者主体の茶話会、年に1度の講演会、地域のイベントへの出店、保護者を含めた親睦会を開催しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・毎週末、つむぎ通信の発行。また、HPにFacebookを貼り付け、誰でも見れるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週に1回つむぎ通信の案内、フェイスブックの更新を行っています。日々の療育での気づきや新しい取り組みなどを報告しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・大切な情報は鍵付きのロッカーに入れ、毎日施錠して帰宅している。 ・セコム管理もしている。 ・写真の扱いについても集計表を作成している。 	

	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			・スケジュールや視覚的な手掛かりの使用。	・意思疎通が難しい際には視覚化した情報も提示し、分かりやすい状況を提供しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	1	・地域イベントには参加。 ・民生委員の見学の受け入れを行った。	・民生委員の見学の受け入れを行いました。また基本的にはいつでも見学は可能としています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	1	1	・マニュアル等を作成しているが、保護者にわかるようにしているものばかりではない。	・保護者の方にも把握して頂けるようにマニュアルをファイル化し、入り口に掲示を行います。 ・また、フェイスブックにて季節に合わせたマニュアルなどの報告も行います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	1	・今年度は消防署にも来ていただき年2回実施している	・年に2回避難訓練を実施しています。消防署の方に来て頂き、実際の避難の様子を見て頂きました。消火器訓練も利用児童も含めて行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5			・確認表を作成している。	・契約時に確認しています。基本情報シートの書式の中でも記入して頂くようにしています。具体的な対応が必要な方に関しては、対応マニュアルを作成しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		2	・医師との連携はしていませんが、アレルギー除去食を提供されているかの確認は必聞き取り、それに準じて対応している。	・アレルギーも表を作成し、確認できるようにしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			・日々取り組んでいる。	・ヒヤリハットや意見要望書を作成し、周知、対策を行っています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1		・法人内研修で実施している。今年度はお子様の氏名の呼び方なども考える機会となった。	・マルトリートメントについて法人で研修会を行いました。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3			・現在は同意書の使用者はなしであるが、組織的な決まりがあり、説明も行っている	・幼児期のお子様に関して、基本的には身体的拘束をしない方針です。ただし、今後ケースが出てきた場合には、契約時や必要時に個別に十分なお話をさせていただきます。

